

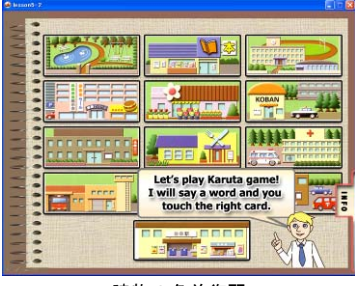


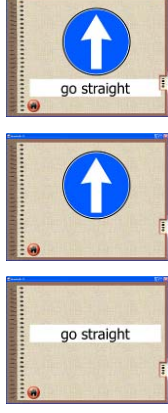



単元計画 Lesson5

	オリジナル ICT 教材を用いた活動	『英語ノート』・カード等を用いた活動	電子黒板の一画面
第1時 「建物やお店の言い方を知ろう」  pp.30-31	活動内容 ・世界の挨拶（世界6か国） ・建物の名前の口頭練習 ・建物絵カードカルタ取り ・オリジナル音読活動 ・電子ペンマンシップ活動	 建物絵カードのカルタ取り	 世界の挨拶 地図上の国をタッチすることにより、挨拶の音声とともに、挨拶の仕草が提示される。
	工夫・改善点 ・世界の挨拶の指導の際に電子黒板上で世界地図を提示し、挨拶の表現や仕草、国の位置や特色ある習慣を確認した。 ・カルタ取りの活動の前に、まず児童に建物絵カードを見せ、その英語名を推測させた。次に音声を聞かせ、英語でどう表現するか確認させた。 ・手本を示す先生役としてまず児童に電子黒板をタッチさせ、その後口頭練習をさせた。		

第2時 「どこに着きましたか」  pp.30-33	活動内容 ・世界の挨拶（世界6か国） ・建物の名前の復習 ・方向や動きを指示する表現の口頭練習 ・サイモン・セズ・ゲーム（ルール説明） ・オリジナル音読教材 ・電子ペンマンシップ活動	・サイモン・セズ・ゲーム（方向を指示する表現を使った活動） ・到着場所当てゲーム（ペアワーク）	 建物の名前復習 児童が、スミス先生の話す建物の名前を聞いて画面上でタッチする。児童が実際にタッチする場面を設定した。（第1時同様）
	工夫・改善点 ・提示した建物の名前をすべて覚えるということではなく、デパートなどカタカナになっているものとの発音やアクセントの違いに気付かせる程度にとどめた。 ・サイモン・セズ・ゲームのルール説明では、電子黒板上のスミス先生の指示に従い、指導者がモデルとなって活動を見せた。 ・方向や動きを指示する活動では、オリジナル ICT 教材を使いながら、教室を広く活用した。		

第3時 「オリジナル・タウンを作って紹介しよう」  p.30 pp.32-33	活動内容 ・世界の挨拶（世界6か国） ・チャンツ ♪Where is the station? ♪ ・方向や動きを指示する表現の口頭練習 ・道案内の聞き取りトライ（ペアワーク） ・オリジナル音読教材 ・電子ペンマンシップ活動   道案内の聞き取り	・道案内の聞き取りトライ（ペアワーク） 『英語ノート』 pp.32-33 の地図を進み、たどった場所に建物絵カードを置く。   ペアワーク	方向を指示する口頭練習  ①絵＋文字で反復練習 ②絵のみを提示 ③文字のみを提示
	工夫・改善点 ・チャンツ ♪Where is the station? ♪では、指導者が日本語で訳すのではなく、ジェスチャーを使って、内容を理解させた。 ・ペアワークでは、聞き取れた内容を確認し合い、相談しながら活動するように伝えた。		

第4時 「オリジナル・タウンを作って紹介しよう」  p.30 pp.34-35	活動内容 ・世界の挨拶（世界6か国） ・チャンツ ♪Where is the station? ♪ ・教室での建物の場所を確認 ・スミス先生の道案内（ペア・グループワーク） ・オリジナル音読教材 ・電子ペンマンシップ活動	・目的地への道案内（ペア・グループワーク）   ペアワーク	チャンツ ♪Where is the station? ♪ リズムに合わせて動くスミス先生といっしょにチャンツをする。 ①リピート ②動きをつけてリピート ③行き先を変えバリエーションをつけて
	工夫・改善点 ・世界の挨拶や仕草をまね、自由に席を立て、友だち数名と挨拶を交わす活動を取り入れた。 ・チャンツ ♪Where is the station? ♪を利用し、リズムに合わせてながら方向や動きを指示する表現を確認させた。 ・できるだけ多くの児童が、道案内の指示を与えられるよう場面設定をした。		